

平成31年度 後期日程
入学者選抜学力検査問題

生命環境学部 環境デザイン学科
美 術

[注 意]

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子の問題は1ページからなっている。
- 6 この冊子に落丁・乱丁および印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 試験開始後60分を経過しないと退室できない。また、試験終了前10分間は退室できない。退室するときは、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は裏返して机上に置き、問題冊子は持ち帰ること。

問題

以下の3種類の物体がある。

【物体A】 各自に支給されたフォーク。
全長は約16cmである。

【物体B】 コンクリートでつくられた球体。
直径は15cmである。

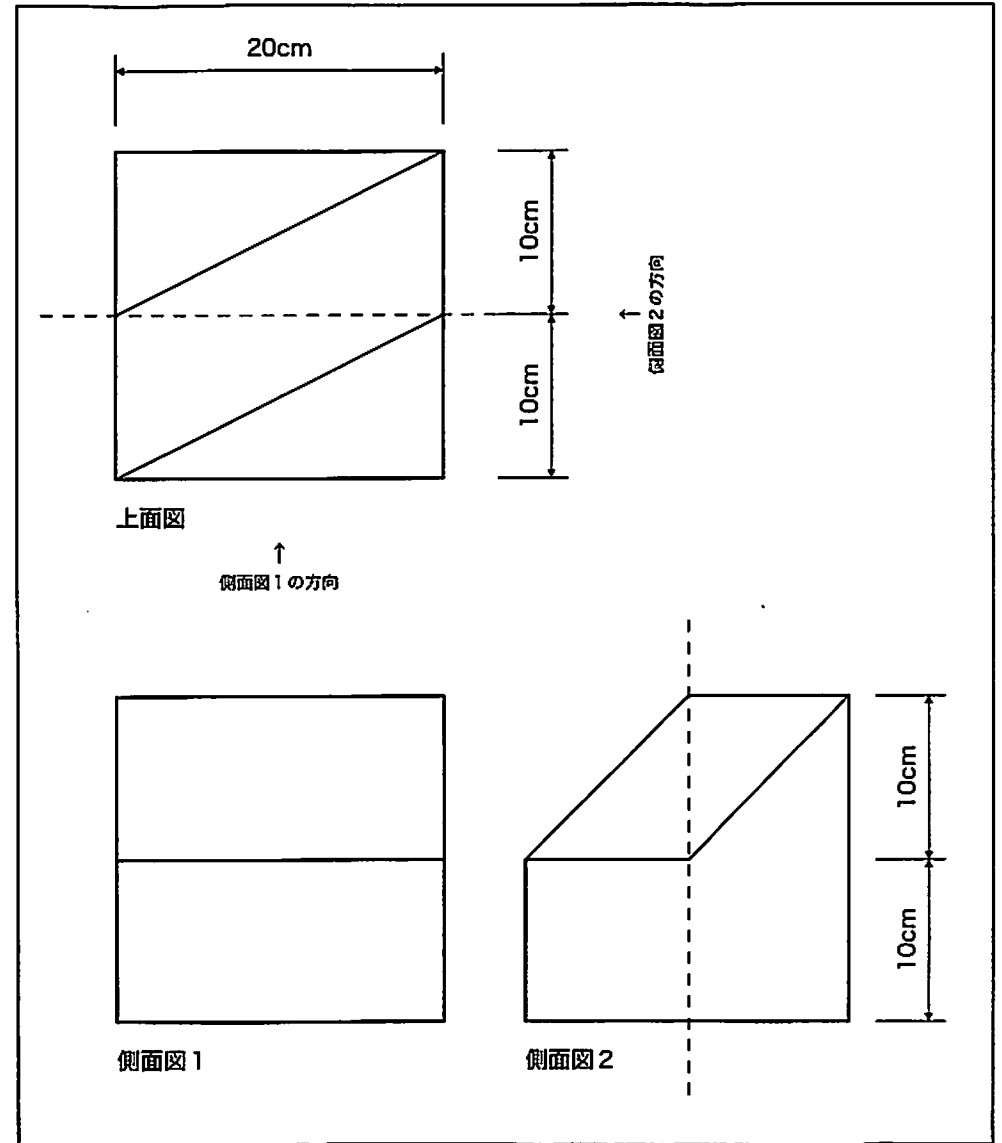
【物体C】 右図に示した木のかたまり。
垂直面によって点線の位置で切断し、ふたつに分割した状態を想定する。

これらの物体A・B・Cをひとつの画面として効果的に構成し、それぞれの形態的な特色がよくあらわれるよう、陰影をつけて立体的に描きなさい。なお、これらの物体は白い平面上に置かれているものとする。

(200点)

[注意]

- ・物体B、物体Cは支給しない。
- ・配布された用紙を使って、設問で想定している形態をつくってはならない。
- ・解答用紙は横使い（横長）で使用する。



図